

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

技術士受験の際の思い出は、面接試験直前に私を襲った極度の緊張感です。「事前準備や長時間書き続ける筆記試験は二度とゴメンだ。この面接を絶対に成功させなくては」との思いからなのか、心臓の鼓動がかなり激しいことに気付き、脈を測ってみると「10秒間で約20回」。長い距離を走った後でも滅多に「1分間に200回」とはならないのに、人間こんなに緊張するものなのか、と感じたことを今でも鮮明に覚えています。

本年4月より道南地域の社会資本整備の一翼を担う「函館建設管理部」に勤務しております。道庁に奉職以来慣れ親しんできた「土木現業所」の名称がなくなったことは残念ではありますが、振興局の一員として(技術士の一人として)、少しでも地域づくり、まちづくりのお手伝いができたら、と考えているところです。

当地では北海道新幹線や縦貫自動車道など新たな高速交通ネットワークが形成されようとしているところです。特に新幹線は新青森までの開業が本年12月と決まり、また道内でもトンネルに引き続いて、明かり部の工事も始められているところです。今後は橋梁や駅部などの姿が見えるようになり、新幹線開業が間近に迫ってきている雰囲気を感じることができると思います。是非お越し下さい。

なお、「1分間に120回」と気付いたのは、面接会場を後にしてからでした。

土栄 正人 (どえい まさと)

●建設部門(都市及び地方計画)

勤務先

北海道渡島総合振興局



→次号は、山田耕三さん(建設部門)

私は北海道に生まれ育ち、帯広で大学時代を過ごしました。平成2年に現在の会社に入社し、農業農村整備事業の計画業務に携わり、かれこれ20年が経ちました。

この原稿を書いている時は、新聞・テレビで沖縄米軍基地移設問題が大きな話題になっていますが、農業関係では宮崎県で牛や豚などに口蹄疫が

発生し問題となっています。感染した牛さらにはその周辺にいた牛も殺処分され、町が崩壊するのではないかとまで報道されています。特に、牛の中でも宮崎県の宝とされるエース級の種牛が殺処分され、「宮崎産の子牛がいなくなれば、松阪牛の品質にも影響する。」と危惧されています。私は、三重県松阪牛の半数以上が宮崎産の子牛であることや、ブランド牛の名前は肥育する場所などで付けられること、エース級の種牛がいることなどを、私の勉強不足とブランド牛を食べたことが非常に少ないこともあり、正直知りませんでした。このような被害は地元産業や畜産業界などの関係者にとっては大問題だと思いますが、個人的には改めて食品の安全性及び食料の安定供給といった施策の重要性が再認識される次第です。何はともあれ、早期解決と今後の復興を期待しています。

最後になりますが、今後も農業農村事業の業務などを通して農業土木の技術者として成長し、微力ながらも食料・農業・農村・北海道・コンサル業界・会社…の発展に貢献していきたいと思っております。

永田 充利 (ながた あつとし)

●農業部門(農業土木)

勤務先

株式会社 ドーコン



→次号は、藤田壮一郎さん(農業部門)